

令和5年

目黒区教育委員会

第40回定例会会議録

(令和5年11月28日開催)

第40回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和5年11月28日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	松村真理子
	教育委員会委員	川嶋春奈
	教育委員会委員	片山 覚
	教育委員会委員	若井田正文

出席職員	教育次長	樫本達司
	教育政策課長	濱下正樹
	学校統合推進課長	西原昌典
	学校運営課長	関 真徳
	学校ICT課長	藤原康宏
	学校施設計画課長	岡 英雄
	教育指導課長	寺尾千英
	教育支援課長	山内 孝
	統括指導主事	鈴木将大
	統括指導主事	石邑由紀子
	生涯学習課長	斎藤洋介
	八雲中央図書館長	伊藤信之

書記		小見哲一
		矢吹翔太

(議事日程)

日程第1	協議事項	幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部改正について
日程第2	報告事項	令和5年度目黒区一般会計補正予算(第3号)について
日程第3	報告事項	令和6年度目黒区立小・中学校及び幼稚園・こども園教育課程の基本方針及び教育課程編成・実施の留意事項(基本的な考え方)について(案)
日程第4	報告事項	令和5年度公立小中学校教員公募について
日程第5	報告事項	学校施設の使用見直し方針案について
日程第6	報告事項	令和5年度学級閉鎖等の状況(11月27日現在)

資料配付

- ・令和6年1月行事予定表

(午前9時00分開会)

- 教育長 令和5年第40回目黒区教育委員会定例会を開会します。
本日の欠席委員、欠席職員はいません。署名委員は、片山委員です。
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部改正について
(協議事項))

- 教育指導課長 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、この協議を了承します。
次に、日程第2を議題とします。

(日程第2 令和5年度目黒区一般会計補正予算(第3号)について(報告事項))

- 教育政策課長 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がありますか。
○委員 都立特別支援学校における給食費補助について伺います。都立特別支援学校に通級する子どもが対象ですが、籍は目黒区立の小・中学校にあるということでしょうか。
○教育支援課長 籍は都立特別支援学校にあります、副籍が目黒区の各小学校、中学校にあります。
○委員 これまで同様の補助等が行われたことはあるのでしょうか。
○教育支援課長 今回が初めてになります。
○教育長 この対応について、他区でも同様の取組があると思いますが、どのくらいありますか。
○教育支援課長 本区を除きまして、23区中12区が給食費の補助の取組を進めています。
○教育長 その他ご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第3を議題とします。

(日程第3 令和6年度目黒区立小・中学校及び幼稚園・こども園教育課程

の基本方針及び教育課程編成・実施の留意事項（基本的な考え方）
について（案）（報告事項）

- 統括指導主事 （資料により説明）
- 教育長 この件についてご質問等がありますか。
- 委員 資料8ページの（5）が削除になっていますが、削除した理由を教えてください。
- 統括指導主事 理科における観察実験支援員の活用等については、既に定着が図られている状況ですので、令和6年度から基本方針には記載しておりません。
- 教育長 その他ご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第4を議題とします。

（日程第4 令和5年度公立小中学校教員公募について（報告事項））

- 教育指導課長 （資料により説明）
- 教育長 この件についてご質問等がありますか。
- 委員 現在のスケジュールから、令和6年度に目黒区の学校へ応募をしている教員の数というのは、分かっているのでしょうか。また、このように目黒区への応募者が増えているということはとてもよいことだと思いますが、これによって教員の人手不足という問題が解消しつつあるのかどうかという点はいかがでしょうか。
- 教育指導課長 令和5年度公立小中学校教員公募という名称ですが、令和6年度に目黒区に異動をしてくる教員の公募になります。
また、教員不足への対応についてですが、異動や退職者の予定数で公募をかけております。特に、年度の後半は急病等で空きが出てくる可能性があり、流動的なものです。その対応は、基本的に公募ではなく、他地区からの異動もしくは新規採用者で埋めていく形になります。
東京都としては教員の欠員の解消に努めているところですが、予断を許さない状況であることには変わりないと考えております。
- 委員 カラー刷りのリーフレットが新しくなったということで、明るい、優しい雰囲気のものでとてもよいと思いました。

1点気になったのは、リーフレットの折り目と先生の顔写真が重なっているの、少しずらした方がよかったですと思いました。

○教育指導課長 リーフレットは単年度でデザインの見直しを図っているところです。紙面構成段階では広げた状態で構成していましたので、次年度は2つに折った時の状況を確認しながら進めてまいります。

○委員 小学校の40分授業、午前5時間制が大々的に公募の魅力の一つとして訴えられております。文部科学省の研究開発校ということで認められていて、それが今年度で終了すると伺っていますが、それは終了しても、来年度も法令で定められた標準授業時数よりも少ない授業時数で1単位時間として認められるものなのでしょうか。

○教育指導課長 研究開発の指定につきましては、現在、研究を延長するための申請をしているところです。

研究の延長が認められない場合は、来年度は教育課程を整理する移行期間となり、令和7年度からは1単位時間40分授業を9分の8コマと数えて行うこととなります。

○委員 移行期間ということで、もし認められなければ令和7年度からは法令どおりに戻すということですが、令和6年度はその移行期間としてどういうカウントにする予定なのでしょうか。

○教育指導課長 移行期間については、今年度と同様に1単位時間40分授業を1コマと数えて実施してまいります。

○委員 それは、移行期間として1単位時間を40分とするということ、文部科学省が認めるという文書などはあるのですか。もし令和7年度から法令どおりに戻すにしても、令和6年度だけは移行期間として認められるという文書が文部科学省から下りる予定なのでしょうか。

○教育指導課長 延長申請が通らなかった場合について、文部科学省から送付される文書の詳細は確認しておりません。延長申請の結果が出るのは年明けであり、そこから教育課程を短期間で組み直すのは難しいため、文部科学省からは1年間の移行期間を設定できると説明を受けております。

○委員 やはりきちっとした文書をもって、区として動いたほうが良いと思います。

私は目黒区の教育委員になって、複数の人から目黒区に異動希望をする小学校の教員に理由を尋ねると、楽がしたいからと

答える教員がいるという話を聞きます。そのように言っている教員がいて、しかも教員としては力のない教員がそう言っているということを私は数人から耳にしているのですが、教育指導課長はそういうわさを耳にしたことはありますか。

○教育指導課長 本区への異動を希望している教員がどのような教員かについての情報は把握していませんが、公募面接では小・中学校ともに、本区を選んだ理由に働き方改革が進んでいることを挙げている方は多いです。教材研究をする時間や自己研鑽する時間が十分取れない現状から、働き方改革が進んでいるところに行き、授業力をつけて子どもたちに還元していきたいという話をしておりました。

また、小学校で公募される教員については、40分授業の学校に配置される可能性が高いことを伝え、40分授業で授業を行う際に、どのような工夫が考えられるかを必ず聞くようにしており、単元単位で見通してカリキュラムを見直すことや、ICTを活用することで時間を短縮し、子どもたちが考える時間を確保するといったことを、自身の得意分野の教科を取り上げながら具体的に話す教員が多くいます。

本区の施策の趣旨を理解し、研究発表会に参加された方からは、実際の子どもの姿から研究の成果を実感し、本区を選んだとの話がありました。このような意欲的な教員と一緒に本区の子どもたちを育てていきたいと考えております。

○委員 あえて申し上げたのは、どんな施策も二面性があると思うからです。例えば先日パーシモンホールで教育委員会が発表しましたが、あのときに来ていた私の知り合いが、生み出した時間5,075分、それを、法令で定められた子どもたちが授業を受ける時間を奪っている時間だと言っていました。1つの出来事も、1つの事柄も、見方によっていろいろな見方ができるので、やはり成果と課題というものをしっかり突き詰めて、地に足が着いた施策を運営していかないといけないと思います。

○教育長 研究発表会を終えて、この後、来年度以降に向けて文部科学省のヒアリングがあると思いますが、そのスケジュールも説明してください。

○教育指導課長 1月17日に研究開発学校フォーラムがあります。その中で研究の成果と課題を報告し、質疑を受ける機会があり、現在、フォーラムに向けて成果と課題を改めて整理しているところです。

当日は本区の取組をしっかりと伝えてまいります。

また、異動者や新規採用教員についても、40分授業の中でしっかりと授業が組み立てられるように併せて支援していきたいと考えています。

○委員

私も中目黒小学校と、パーシモンの発表会を拝見しました。40分授業の優れた点が強調されているのは当然だと思いますが、懸念されている点についての論証なども必要ではないかと思えます。

一般的に考えると、授業の時間が減れば、やはり学力が下がるのではないかという心配が基本的にあると思います。やはり学校は学力をつけるということが大きな課題だと思いますので、例えば全国の学力テストの結果などによって、大丈夫なのかどうかといった内容も発表した方がよいと思いました。

また、パンフレットにもあるように生み出した時間が教員のゆとりになるという側面は確かにあると思いますが、ゆとりになるということは、授業が終わった後の時間は、自分のライフ・ワーク・バランスなどにつながって、ゆとりに直結すると思います。他方で、その時間を使って発展的な学習や探究的な学びに先生がお付き合いしたり指導したりするというのであれば、学科の授業ではない、別の負担が増えるということにもなるのではないかと感じました。必ずしもそれが教員の働き方改革に直結するのかがよく分かりませんでした。来年度、再来年度に向けて検討されるということであれば、その点についても、今後、ご説明いただきたいと思いました。

○教育指導課長 限られた発表時間の中で、詳しい数値を出して説明することができなかったことは残念でした。

学力の維持・向上については、研究の初年度から5年間の推移を見てきたところでして、当日、配付した冊子にも全国学力・学習状況調査結果の数値を載せています。また、毎年度、研究開発実施報告書を文部科学省に提出しますが、本報告書にも学習面に係るエビデンス資料として記載しております。

また、探究的な学びを推進する上での教員の負担についてですが、探究的な学びは午前5時間制の実施の有無に関わらず、どの学校においても取り組んでいくことです。時間の確保ができない状態で探究的な学びを推進していく場合は、児童にとって学校滞在時間が増えていくことが考えられます。

勤務時間内に、校内研修や教材研究ができる時間を確保し、授業改善をしっかりと図っていくことが重要であると捉えており、各学校では様々な工夫をして、取り組んでいるところです。

○委員 先ほど委員が話されたように、樂をしたいから目黒区を希望すると言う先生がいるということは、それはそれで良い面があると思いました。それによって、目黒区を注目してもらい、たくさん希望者に来てもらって、その中からこちらが選べるようになっていけたらよいのではないかと思いました。

○教育長 40分授業午前5時間制について、それぞれ考え方があると思いますが、どのような立場に立つにしても、自分にとって都合のよい情報だけ集めるような、そういう態度だけは取らないよう注意すべきだと感じました。

その他ご質問等がありますか。

特にないようですので、この報告を受けました。

次に、日程第5を議題とします。

(日程第5 学校施設の使用見直し方針案について(報告事項))

○生涯学習課長 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等がありますか。

特にないようですので、この報告を受けました。

次に、日程第6を議題とします。

(日程第6 令和5年度学級閉鎖等の状況(11月27日現在)(報告事項))

○学校運営課長 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等がありますか。

○委員 報告書には、学級閉鎖の期間として11月22日水曜日から11月22日水曜日まで、といった表記がありますが、これは1日という意味なのでしょうか。

○学校運営課長 はい。翌日が祝日ですので、実態としては祝日も含めた形になりますが、学級閉鎖期間としては学校の営業日ということで22日から22日、この場合は1日という形になります。

○教育長 その他ご質問等がありますか。

特にないようですので、この報告を受けました。

資料配付

- ・ 令和6年1月行事予定表

○教育長 その他何かありますか。
 特にないようですので、以上で本日の定例会を閉会します。

(午前9時47分閉会)